

# 高等部 生活単元学習 学習指導案

日時 令和7年2月1日 10:00～

場所 サービス技能室

対象 高等部1年生8名

指導者 T1 吉田智穂 T2 道脇誠 T3 宮原朋子

## 1. 単元名「夢を語ろう1年生」

## 2. 単元について

### 生徒観

本学年は男子生徒5名、女子生徒3名計8名が在籍し、5名は本校中学部、3名は外部中学校から入学している。今年度高等部では、就業・施設体験後に学部縦割りグループで、「高等部で身に付けたい力」について話し合う学習に取り組んだ。本学級の生徒も参加し、自分の考えを伝える様子が見られた。しかし、自分の卒業後についての問うと、希望する職種や勤務時間などを答える生徒もいれば、分からないと言う生徒もいた。

また、家庭生活については、ゲームやインターネットの視聴などで余暇の大半を自宅内で過ごしている生徒も多く、長時間のゲームや夜更かしを自覚していても、改善に向かえない生徒や、手伝いが単発で終わり継続しない生徒もいる。

以上のように「高等部で身に付けたい力」として話し合った将来の生活に必要な力について知ってはいるものの、自分事としては受け止めていない様子や自分の将来について思いめぐらすことが難しい様子が見られる。しかし、授業や体験活動などで、自分の得意なことや課題を考える大切さを理解し、自己理解をしようとする姿も見られるようになってきている。

コミュニケーションに関しては、ほとんどの生徒が自分や身近なことについて簡単に話したり応えたりでき、発語のない生徒も、学校生活で多用する簡単な指示を理解しており、イラストの選択や音声読み上げソフトなどでコミュニケーションがとれるように支援を行っている。生徒同士は、教師を介して時間をかけて好きなことやゲームなどで打ち解けてきた。また、和やかで楽しい雰囲気になると、安心して学習に取り組み、自分の力を発揮する姿が見られる。

### 単元観

卒業後に望ましい生活を送るためには、まずは夢や希望を想像豊かにもつこと、それらを叶えるために期待感をもって何事にも意欲的な生活や活動をする姿が大切だと考える。次に、いきいきした生活をする中で様々な経験を通して自己理解を深め、自分に合った生き方を明確にしていくことで、卒業後の生活に期待感をもって生活できると考える。本単元では、今後の夢や希望を様々な視点から考えて表現し、それらを叶えるためにどういう取り組みが必要となるかを生徒同士で意見交換し、夢や希望のために、今、学校や家庭でどう過ごしていくべきなのかを考えていくことを目指す。生徒が現在および将来の望ましい

生活を送るための最初のステップとなる学習としていきたい。

### 指導観

指導にあたっては、楽しく夢を考える雰囲気や環境を、興味関心のある教材や活動、教師や生徒同士のやりとりから作るようにする。また、将来の生活について考えやすいように、就業・施設体験後の話し合い活動で用いた「職業」「生活」「余暇」という3つの項目を視点としていく。

初めに将来の3つの項目の夢や希望について考え自分の未来予想図を作る。各生徒が3つの項目について付箋に思いを記入し貼り分け、1枚の模造紙にまとめる。作った未来予想図は全員分を掲示し、生徒同士で内容の共有ができるようにする。未来予想図作成で、保護者と将来への希望の共有が必要な生徒については、事前に聞き取りなどをしてイラストを用意し、貼り付けできるようにする。作成にあたっては、初めはインターネットでの調べ学習を行わないこととする。あえて初めからは具体的な情報提示を行わず、生徒自身が調べ学習や生徒同士の意見交換の必要性を感じとることができるようにしたい。将来の生活に関する情報を得る方法として、インタビュー動画を視聴したり生徒同士で意見を出し合ったりする。

インタビュー動画については、多くの夢や希望を共有することで、生徒が興味関心に合ったものを見つけることができるように、インタビューに答えてもらう人には、事前に趣旨を伝えておく。友達や身近な大人の意見を聞いて参考にしたり、自分だけでなく友達の夢や希望についても必要となることなど考えたりすることで、多くの夢や希望に触れ、将来の生活の見通しにつながるのではないかと考える。

意見交換の際に、教師は生徒が考えたことがより具体的になり深まっていくよう、理由を聞いたり発言を整理したりしながらやりとりをする。意見をすぐには表出しにくい生徒や、他の生徒の出した意見を知ることも目標となる生徒については、意見を出す順番を後半にして、先に挙げた複数の意見の選択肢や学習者用PCを用いてインターネットで調べたことを発表したり、発表された意見に合うイラストを提示する役割を担ったりできるようにしたい。また、意見を出しやすい雰囲気を持続するために、話し合いの約束事などを決めて提示し、確認を適時行う。意見交換は3回、「職業」「生活」「余暇」の項目毎にテーマを決めて繰り返し行うことで、流れに慣れて意見を出しやすくなるを考える。

### 3. 単元の目標

- 職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。(職業・家庭職業分野ア)
- 職業や活動に関心をもち、自分との関わりに気付くことができる。(生活ア)
- 生徒同士の意見交換を通して、将来に向けて自分の課題を見出すことができる。(職業分野イ)
- 生徒同士の仕事に関する意見交換の内容について知ったことや、選択したことを表現するこ

とができる。(生活イ)

○将来をよりよくするために主体的に物事に取り組もうとすることができる。(職業分野ウ)

○生活を豊かにするために自分のことに意欲や自信をもって取り組もうとすることができる。  
(生活ウ)

○様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(職業・家庭 家庭分野ア)

○自分に合った余暇の過ごし方について考え表現することができる。(家庭分野イ)

○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。(家庭分野ウ)

#### 4. 単元の評価規準

○将来の職業や働く生活について、概要や実行できるまでの道筋を知っている。(職業・家庭  
職業分野、中学部1段階ア)

○将来の職業や働く生活について、教師の問いかけに様々な反応をしている。(生活 小学部  
3段階ア)

○生徒同士の意見交換を通して、将来に向けての自分の課題に気づく。(職業分野、中学部1  
段階イ)

○生徒同士の意見交換の内容について「職業」に関するイラストを選択して表現している。  
(生活 小学部3段階イ)

○意見交換を通して知ったことを受けて、学校生活に前向きに取り組んでいる。(職業分野、  
中学部1段階ウ)

○教師の言葉かけに応じ、意欲や自信をもって取り組んでいる。(生活 小学部3段階ウ)

○将来の生活や様々な余暇の過ごし方について理解している。(職業・家庭 家庭、中学部2  
段階ア)

○将来の生活や様々な余暇の過ごし方について知っている。(家庭分野 中学部1段階ア)

○自分の好きな余暇を考えて、教師や友達に表現している。(家庭分野、中学部2段階イ)

○余暇について聞いたり選択肢から選んだりして、自分の好きな余暇を教師や友達に表現して  
いる。(家庭分野、中学部1段階イ)

○自分の生活への希望や願いを教師や友達に自分から共有しようとしている。(家庭分野、中  
学部2段階ウ)

○自分の生活への希望や願いを、教師や友達とやりとりをして共有しようとしている。(家庭  
分野、中学部1段階ウ)

5. 単元の計画（全 16 時間）

次	時	日時	学習内容	指導内容
1	1	1/8	○オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことに関心をもつこと（職業分野 Aア）</li> <li>・余暇の過ごし方について知ること（家庭分野ウ（ア））</li> </ul>
	2		○未来予想図を考えよう 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来を知ろう</li> <li>・未来予想図を作ろう</li> <li>・学級内発表</li> </ul>	
	3	1/14	○インタビュー動画を見よう	
	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴</li> <li>・インタビュー動画のまとめ</li> </ul>	
	5	1/15	○未来予想図を考えよう 2	
	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー動画をまとめた用紙や友達との意見交換、インターネットで調べたことを使って考える</li> </ul>	
2	7	1/20	○夢のために必要なことを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の職業生活に必要な事柄について触れ、学習したことを伝えること（職業分野）</li> <li>・将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする（職業分野）</li> <li>・職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること（職業分野）</li> <li>・望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現すること（家庭分野）</li> <li>・よりよい生活の実現に向け</li> </ul>
	8		①仕事編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの仕事の夢から考えたい夢を選ぼう</li> <li>・どんな力やものがよいか考えよう（順番も考える）</li> </ul>	
	9	1/29	②生活編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの生活の夢から考えたい夢を選ぼう</li> <li>・どんな力やものがよいか考えよう（順番も考える）</li> </ul>	
	10		③余暇編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの余暇の夢から考えたい夢を選ぼう</li> </ul>	
11	1/29	③余暇編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの余暇の夢から考えたい夢を選ぼう</li> </ul>		
12	2/1 本時	③余暇編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな力やものがよいか考えよう（順番も考える）</li> </ul>		

	13 14	2/3	○未来予想図の発表 ・発表の際に大切なことの確認 ・発表の練習をしよう ・発表しよう ・感想を発表しよう	て、生活を工夫しようとする こと（家庭分野）
3	15 16	2/5	○学びのあしあと製作 ・画像を選択 ・文書製作ソフトに画像を貼り付 け、学習の内容や感想を入力する	

## 6. 単元の個人目標

生徒		個人目標
A	職業 分野	○職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。 (中1ア)
		○生徒同士の意見交換を通して、将来に向けて自分の課題を見出すことができる。 (中1イ)
		○将来をよりよくしようと主体的に物事に取り組もうとすることができる。 (中1ウ)
	家庭 分野	○様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(中2ア)
		○自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現することができる。(中2イ)
		○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。 (中1ウ)
B	職業 分野	○職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。 (中1ア)
		○生徒同士の意見交換を通して、将来に向けて段階的に自分の課題を見出すこと ができる。(中1イ)
		○将来をよりよくしようと主体的に物事に取り組もうとすることができる。 (中1ウ)
	家庭 分野	○様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(中2ア)
		○自分に合った様々な余暇の過ごし方について考え、表現することができる。 (中2イ)
		○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。 (中1ウ)

C	職業分野	○職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。 (中1ア)
		○生徒同士の意見交換を通して、将来に向けて自分の課題を選択肢から選択し、見出すことができる。(中1イ)
		○将来をよりよくしようと主体的に物事に取り組もうとすることができる。 (中1ウ)
	家庭分野	○様々な余暇の過ごし方について考えることができる。(中2ア)
		○自分のやりたい余暇の過ごし方について考え、自分なりに表現することができる。(中2イ)
		○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。 (中2ウ)
D	職業分野	○職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。 (中1ア)
		○生徒同士の意見交換を通して、将来に向けて自分の課題を様々な視点から見出すことができる。(中1イ)
		○将来をよりよくしようと主体的に物事に取り組もうとすることができる。 (中1ウ)
	家庭分野	○様々な余暇の過ごし方について考えることができる。(中2ア)
		○自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現することができる。(中2イ)
		○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。 (中1ウ)
E	職業分野	○職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。 (中1ア)
		○生徒同士の意見交換を通して、将来に向けて自分の課題を段階的に見出すことができる。(中1イ)
		○将来をよりよくしようと主体的に物事に取り組もうとすることができる。 (中1ウ)
	家庭分野	○様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(中2ア)
		○自分のやりたい余暇の過ごし方について考え、表現することができる。(中2イ)
		○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。 (中1ウ)
F	職業分野	○職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。 (中1ア)
		○意見内容を参考に将来に向けて自分の課題を見出すことができる。(中1イ)
		○将来をよりよくしようと主体的に物事に取り組もうとすることができる。(中1ウ)

	家庭分野	○様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(中2ア)
		○自分のやりたい余暇の過ごし方について考え、表現することができる。(中2イ)
		○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。(中2ウ)
G	職業分野	○職業に関心をもち、将来の職業生活に係る知識を身に付けることができる。(中1ア)
		○生徒同士の意見交換を通して、将来に向けて自分の課題を様々な視点で見出すことができる。(中1イ)
		○将来をよりよくしようと主体的に物事に取り組もうとすることができる。(中1ウ)
	家庭分野	○様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(中2ア)
		○自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現することができる。(中2イ)
		○自分の生活への希望や願いをもち、そのことを他者と共有することができる。(中1ウ)
H	生活科	○職業や活動に関心をもち、自分との関わりに気付くことができる。(小3ア)
		○生徒同士の意見交換の内容について知ったことや、選択したことを表現することができる。(小3イ)
		○生活を豊かにしようと自分のことに意欲や自信をもって取り組もうとすることができる。(小3ウ)
	家庭分野	①様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(中1ア)
		②自分の好きな余暇の過ごし方を選択肢から選択することができる。(中1イ)
		③自分の生活への希望や願いについての選択やイラストの選定などを意欲的に行うことができる。(中1ウ)

## 7. 本時の目標

- 意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考え表現することができる。  
(職業・家庭 職業分野イ)
- 自分がやりたい余暇の過ごし方を考えることができる。  
(職業・家庭 家庭分野イ)

## 8. 本時の評価規準

- ①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考えて発表したり、友達の意見を受け止めたりしている。  
(職業・家庭 職業分野、中学部1段階イ)
- ②意見交換の中で、自分の将来の生活に関係することを選択肢から選択している。  
(生活 小学部3段階)

③自分に合った余暇の過ごし方を教師や友達とやりとりをしながら考えている。

(職業・家庭 家庭分野、中学部 2段階イ)

④自分がやりたい余暇の過ごし方を教師や友達とやりとりをしながら考えている。

(職業・家庭 家庭分野、中学部 1段階イ)

### 9. 本時の個人目標

生徒	個人目標
A	①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考えて表現することができる。(職1イ)
	④自分がやりたい余暇の過ごし方を考えて表現することができる。(家中1)
B	①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考え、理由を加えて表現することができる。(職中1イ)
	③自分に合った余暇の過ごし方を考えることができる。(家中2イ)
C	①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考え、友達の意見を聞いて、選択し表現することができる。(職中1イ)
	④自分がやりたい余暇の過ごし方を考えることができる。(家中1イ)
D	①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考え、表現することができる。(職中1イ)
	③自分に合った余暇の過ごし方を考えることができる。(家中2イ)
E	①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考え、表現することができる。(職中1イ)
	③自分に合った余暇の過ごし方を考えることができる。(家中2イ)
F	①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考え、表現することができる。(職中1イ)
	④自分がやりたい余暇の過ごし方を考えることができる。(家中1イ)
G	①意見交換の中で、将来の生活について必要なことを考え、表現することができる。(職中1イ)
	③自分に合った余暇の過ごし方を考えることができる。(家中2イ)
H	②意見交換の中で、将来の生活に関係することをイラストでの選択肢から選択することができる。(生小3イ)
	③自分がやりたい余暇の過ごし方を考え、イラストでの選択肢から選択することができる。(家中1イ)

## 10. 本時の展開

時間	活動内容	指導・支援
10:00	○はじめの挨拶	○姿勢などに気を付けて、挨拶ができるように日直の生徒へ言葉かけなどをする。
10:01	○学習の流れを知る ・昨日までの学習について  ・意見交換する余暇のテーマの確認	○掲示している模造紙などを活用して、視覚的に伝える。 ○余暇のテーマについて、考えるポイントを伝えながら内容を知らせ、意見交換につながるようにする。 ○意見交換でポイントを意識した意見を考えることができるように、提示したスライドを手元で確認できる大きさの資料を用意する。
10:10  (4分)	○夢のためにどんなことが必要か考えよう③余暇編 ・役割の分担（司会、書記など）	○役割の内容やこれまで役割を経験した生徒を確認して、担当をする意欲を高める。立候補や推薦でできるだけ役割が決めるように、役割のよさを伝える。場合によっては教師から依頼する。その際には理由や教師が支援することを伝える。 ○書記の役割の生徒に応じて、視覚的に意見の内容がイメージしやすいように、文字以外にイラストを貼り付けて提示する。
(15分)	・意見交換「どんな力やものが 必要か考えよう」	○意見を発表するときの約束などを確認して、相手の気持ちを考えることができるようにする。 ○意見を考えるときには、初めに教師が伝えたテーマに対して考えるポイントを意識できるように問いかけたり、発表前に意見を聞いてよさや深める言葉かけをしたりする。 ○一人1回以上、意見を発表することができるように、意見が出にくい生徒には、これ

(8分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>出た意見について取り組む順番を考える</li> </ul>	<p>までに出された意見からの選択、イラストでの選択ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見を深めるために、生徒に応じて理由も発表できるように問いかけをする。</li> <li>苦手、得意などの個人差があることを踏まえた難易度や、範囲など考えるポイントを伝え、力をつけるステップにつながるようにする。</li> </ul>
(8分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の未来予想図に、関連した内容を探す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じテーマを記している生徒に記入の追加を促し、他の生徒にも自分の記しているテーマと今日の意見とのつながりを考えることができるように、模造紙を見て行う。</li> </ul>
10:45	○おわりの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>片付けなどを続けている生徒に言葉かけをして、日直に挨拶を促す。</li> </ul>

### 11. 場の設定

